

4 健康づくりに関する課題

人口・世帯、市民の健康に関する状況や、「元気じゃけんひろしま21」の評価内容から、次の項目が解決すべき健康課題としてあげられます。

- がん、脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病といった生活習慣病の疾病全体に占める割合は依然として高く、死亡原因でも生活習慣病が約6割を占めていることから、生活習慣病の発症予防と重症化の予防に取り組む必要があります。その前提として、バランスのとれた食生活、日常生活の中での適度な運動、禁煙など、健康づくりの基本要素である「栄養・食生活」、「身体活動・運動」、「休養・メンタルヘルス」、「喫煙」、「飲酒」、「歯と口の健康」の6つの分野に関して、個人の生活習慣の改善等に取り組む必要があります。
- 妊娠中の喫煙や働く世代の多量飲酒、要介護認定者数の増加など、乳幼児期から高齢期まで、ライフステージごとに健康に関する課題が異なることから、「栄養・食生活」、「身体活動・運動」、「休養・メンタルヘルス」、「喫煙」、「飲酒」、「歯と口の健康」の6つの分野ごとに課題を抽出し、それぞれのライフステージの特徴に応じ、健康づくりに取り組む必要があります。
- 個人の健康は、家庭、地域、学校、職場等の社会環境の影響を受けることから、市民の健康づくりに関わる地域活動、家庭や職場等における受動喫煙防止対策など、「栄養・食生活」、「身体活動・運動」、「休養・メンタルヘルス」、「喫煙」、「飲酒」、「歯と口の健康」の6つの分野ごとの視点を踏まえながら、社会全体で市民の健康を支え守るための社会環境の整備に取り組む必要があります。